

## グラフィガードS

グラファイトの保護コーティング剤「グラフィガード」の耐熱上限は1,000℃ですが、「グラフィガードS」は1,000℃を超えた高温域で、グラファイトの酸化防止に使用されます。用法は「グラフィガード」と同じ塗布コーティングです。

### 特 性

- 生成した皮膜の耐熱上限は酸化雰囲気中で持続で 1,400℃、断続では 1,500℃。
- 皮膜は硬く、ある程度の耐摩耗性があり、高遠赤外線放射率です。
- 様々なグラファイト、セラミックに使用できます。
- 水性ペイント状で塗布は容易です。



【荷姿】100ml、500ml、1ℓ いずれも広口プラスチック容器入り

### 使用方法

1. コーティングする面の汚れや遊離粉、付着物があるときは、完全に除去します。できればサンドペーパーなどで表面を荒らします。
2. グラフィガードSは底に固く沈降しますので十分に攪拌して、均一にしてください。原液のままご使用ください。
3. コーティングはハケ塗りで、通常 1~2 回おこない、最終的に 0.1~0.2 ミリの厚さに仕上げます。厚く塗りすぎますと、乾燥工程でヒビ割れが生じることがありますので、ご注意ください。  
※スプレーも可能ですが、詰まりを防ぐため乳鉢などですりつぶし、50~100 メッシュ網でろ過してから使用してください。
4. コーティングをしたら、60~90℃で約 2 時間乾燥させます。2 回目のコーティングを行う場合は最初の皮膜が完全に乾燥してからコーティングをします。
5. 皮膜が完全に乾燥してから、300℃で 30 分間加熱しますと、硬くて水に溶けない皮膜になります。  
乾燥後すぐに高温、乾燥の雰囲気中で使用するときには、この処理はいりません。
6. 塗布に用いた容器、道具類は水で洗ってしまってください。

### 技術資料

耐熱上限：1,400℃(持続) 1,500℃(断続)  
 使用可能雰囲気：全雰囲気  
 主な成分：シリコンカーバイド、ムライト、シリカ  
 溶媒：水  
 比重：約 1.8  
 色：黒灰色  
 ガス放出完了温度：600℃  
 放出されるガスの内容：水、エタノール  
 pH：1~3  
 被覆面積：1ℓで 3~7 m<sup>2</sup>  
 ◎有効保存期間は 1 年です。